

# 方法管理する統合されたメール 相互対話マネージャ ( EIM ) のパスワードを

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[手順](#)

## 概要

この資料に EIM の Admin Workstation ( AW ) データベース ( DB ) ユーザを変更または EIM インテリジェントな コンタクト マネージメント ( ICM ) 統合配備の作成されたユーザのパスワードをアップデートする方法を記述されています。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Unified Contact Center Enterprise ( UCCE )
- EIM
- Microsoft 構造化照会言語 ( SQL )

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- UCCE 9.x、10.x
- EIM 9.x

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 背景説明

Cisco 相互対話マネージャ ( CIM ) は AW データベースにいくつかの理由で接続します。CIM が UCCE と統合とき、AW データベース ユーザーおよびパスワードは定義されます。このユーザは一般的に SQL サーバの存在が AW/HDS サーバで経営する sa です。統合 ウィザードが完了すれば、再度実行することができません。

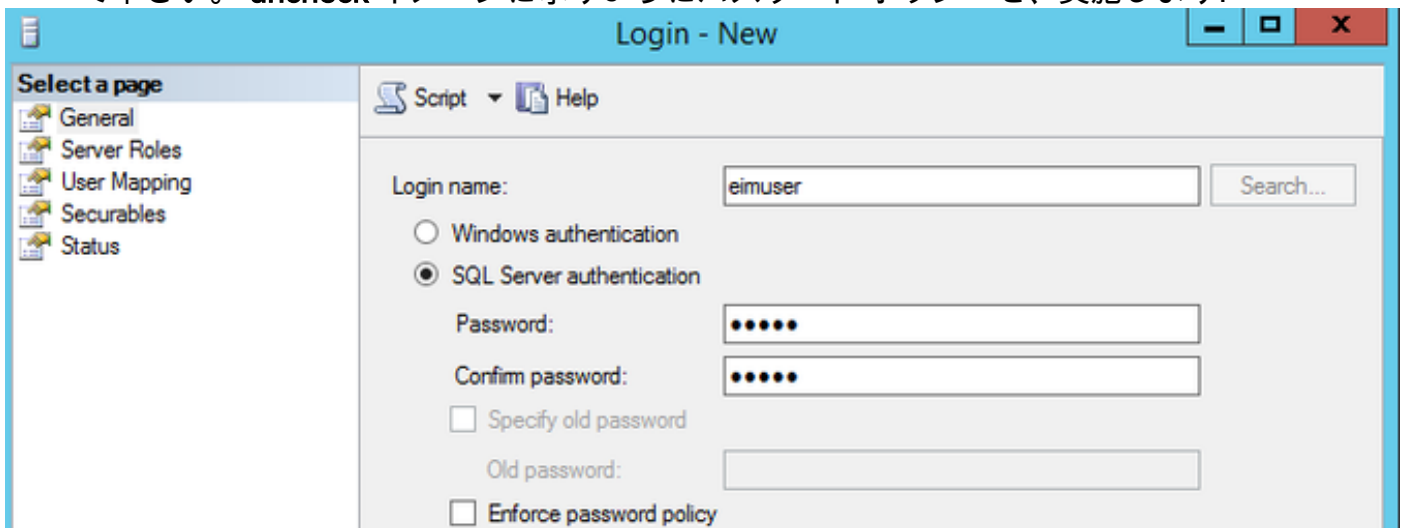
セキュリティの理由から、何人かの顧客は SQL sa ユーザがアプリケーションによって使用されることを許可しません。この場合、新しいユーザが SQL sa ユーザを取り替えるために必要となります。このプロシージャは AW/HDS サーバの新しい SQL ユーザを作成する方法を説明し、sa ユーザを新しいユーザと取り替え、それをアップデートすることは CIM 側のパスワードです。

同じようなプロシージャは sa ユーザ (例えば eimuser) ではない現在のユーザのパスワードをアップデートするために続けることができます。

## 手順

ステップ 1 :

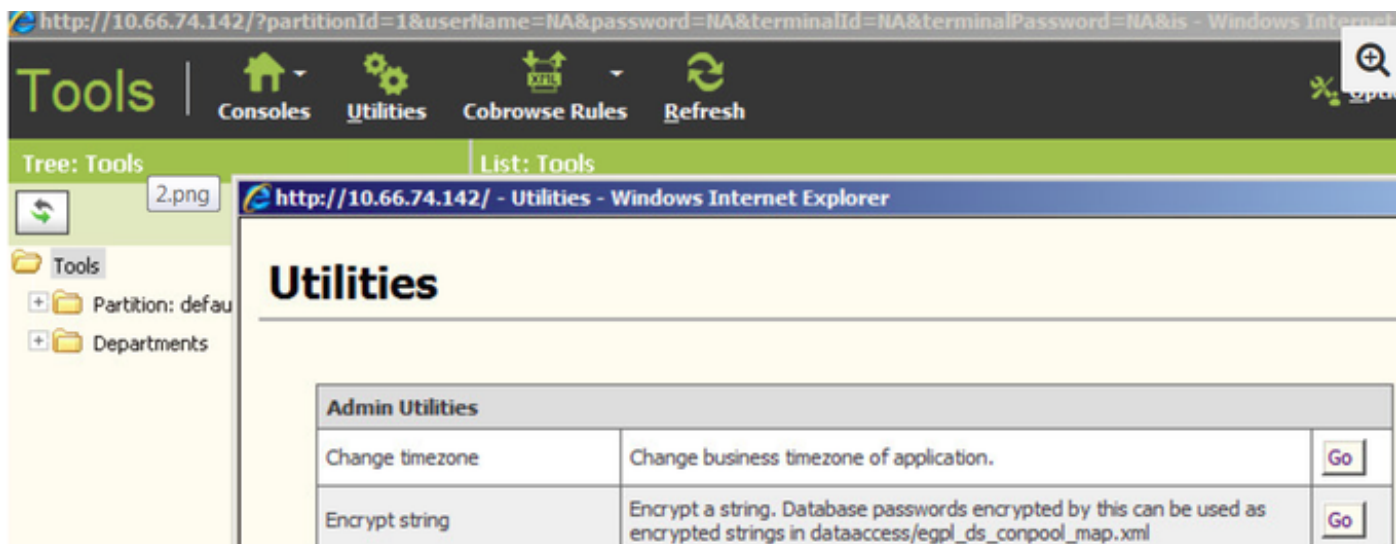
1. プライマリ AW/HDS にナビゲートし、SQL 管理スタジオを開いて下さい。
2. セキュリティを拡張し、ログオンを右クリックし、新しいログオン ユーザを作成して下さい。
3. ログインの New 画面で、パスワードを『SQL Server authentication』を選択し、タイプして下さい。 **uncheck** イメージに示すようにパスワード ポリシーを、実施します:



4. 左側ペインで、マッピングを『User』をクリックし、<instance>\_awdb をチェックし、次に db\_datareader 役割をチェックして下さい。

ステップ 2.統合 ウィザードは egpl\_ds\_connpool\_map.xml でユーザ名 および パスワード 情報を保存します。留意して下さい、パスワードは暗号化され、ファイルにまっすぐに修正することができません。

1. PA との EIM コンソールへのログインは『Tools』をクリックし。
2. 『Utilities』をクリックして下さい。
3. ユーティリティ 暗号化 スtring を検索し、イメージに示すように、『Go』をクリックして下さい:



4. 暗号化されるべきパスワードを入力して下さい。これが/Step1 の新しい/既存のユーザ向けの AW/HDS SQL でアップデートされて設定した同じパスワードであることを覚えていて下さい。

ステップ 3 アップデート ユーザおよびパスワードに、Ciscoサービスを停止して下さい。

1. ここに述べられるすべての 3 つの場所からの egpl\_ds\_connpool\_map.xml のバックアップを奪取して下さい。
2. 暗号化されたストリングをコピーし、この 3 つの場所にある egpl\_ds\_connpool\_map.xml ファイルでアップデートして下さい:
  - <File Server> CIM \ eService \インストール\dataaccess
  - <File Server> CIM \ eService \インストール\耳\ eService.ear \ライブラリ\ configurations.zip \ dataaccess \
  - <Services Server> CIM \ eService \ライブラリ\ configurations.zip \ dataaccess
3. テキストエディタの egpl\_ds\_connpool\_map.xml ファイルを開き、ワード awdb を捜して下さい。
4. active='y' を見つけ、新しいユーザと sa およびそのプールのための暗号化されたパスワードに置き換えて下さい。再度ユーザがファイルで現在の sa 以外既にあつたらそしてパスワードをアップデートして下さいただ

```

</connpool>
- <connpool name="IPCC_MSSQL_POOL_1" egid="307" active="y">
  <Type egid="3071">basic</Type>
  <CapacityIncrement egid="3072">2</CapacityIncrement>
  <DriverName egid="3073">com.microsoft.sqlserver.jdbc.SQLServerDriver</DriverName>
  <InitialCapacity egid="3074">1</InitialCapacity>
  <MaxCapacity egid="3075">10</MaxCapacity>
  <User egid="3076">sa</User>
  <Password egid="3077">C2A0C38DC2A0C2A6C399C396C2ACC2A6C284C293C296C299</Password>
  <Url egid="3078">jdbc:sqlserver://10.68.44.67:1433;DatabaseName=icm_awdb</Url>
  <Targets egid="3079"/>
  <Vendor egid="30710">MSSQL</Vendor>
  <DriverVendor egid="30711"/>
  <TableName egid="30712">sysindexes</TableName>
</connpool>
- <connpool name="IPCC_MSSQL_POOL_2" egid="308" active="n">
  <Type egid="3081">basic</Type>
  <CapacityIncrement egid="3082">2</CapacityIncrement>
  <DriverName egid="3083">com.microsoft.sqlserver.jdbc.SQLServerDriver</DriverName>
  <InitialCapacity egid="3084">1</InitialCapacity>
  <MaxCapacity egid="3085">10</MaxCapacity>
  <User egid="3086">sa</User>
  <Password egid="3087">C2A0C38DC2A0C2A6C399C396C2ACC2A6C284C293C296C299</Password>
  <Url egid="3088">jdbc:sqlserver://10.68.44.57:1433;DatabaseName=icm_awdb</Url>
  <Targets egid="3089"/>
  <Vendor egid="30810">MSSQL</Vendor>
  <DriverVendor egid="30811"/>
  <TableName egid="30812">sysindexes</TableName>
</connpool>

```

ステップ 4. Ciscoサービスを開始し、統合作業をうまく確認して下さい。コンフィギュレーションマネージャの AW/HDS の新しいエージェントを作成し、CIM サーバの新しいエージェントをマップし、エージェント ログオンが正常であるかどうか確認して下さい。